

## 手話学習会「火曜会」

### 主催のイベントの

### お知らせ

手話学習会「火曜会」より、ふれあいコンサートの御案内をいただきました。

この企画は、松山近郊の学校で手話を学ぶ子どもたちが集まり、その成果を発表したり、聴覚障害者や他校の子どもたちと楽しく交流することを目的として毎年行われています。

どなたでも参加できます。みなさんも行かれてみませんか？

参加したい方は、担任を通して自立連携課・水田までご連絡下さい。

※松山市総合福祉センターは、  
【松山市若草町 8-2】  
です。

# ふれあいコンサート

日時 平成22年2月11日(木) 13:30~15:30  
場所 松山市総合福祉センター 1階大会議室

当日は、  
祝日です。  
受付は  
12:30~



## プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 小学校手話クラブの発表
  - ◇ 久枝小学校 自己紹介  
手話コーラス「ありがとう」
  - ◇ 石井小学校 手話コーラス「One Love」  
手話コーラス「遙か」
  - ◇ 椿小学校 自己紹介  
手話コーラス「ひまわり」
  - ◇ 味生小学校 自己紹介  
手話コーラス「たんぼぼ」
3. 火曜会 昼の部  
手話劇「おおきなかぶ」  
朗読「金子みすずの詩の世界」  
手話劇「はらぺこゆうらい」
4. 火曜会 夜の部  
手話コーラス「世界にひとつだけの花」  
音のない歌「母讃歌」
5. フラダンス 「南国の夜」
6. 腹話術 高市 章 さん  
~ 休憩 ~ (ゲームの準備)
7. ゲーム(全員参加)
8. 閉会のあいさつ

全員コーラス 「今日の日はさようなら」 →(解散)

~ この事業は、えひめボランティア助成金「愛ウエーブ 2009」により  
行います。~

## お知らせ 長谷川達也氏を迎えての学習会「目からウロコ」の手話を学ぼう

日時 平成22年3月22日(月・祝日) 13:00~15:00

場所 松山市総合福祉センター 5階中会議室  
(松山市若草町 8-2)

参加費 聴障協会・全通研会員無料 非会員1,000円

参加申込締切り 3月14日(日)

長谷川さんは、もと聾学校の先生だそうです。さらに手話通訳・指導の立場で御活躍。参考になることも多いかもしれません。この本の著者です。



書籍紹介 … 紹介しそびれるとすぐにたまってしまいう新刊、一挙紹介！

■ 『かんぺきな人なんていない』

マーリー・マトリン著 日当陽子 訳  
フレーベル館 定価 1,470 円 (税込)

転校生のアレクシスは、頭がよくて、きれいで、スポーツ万能のかんぺきな女の子。でも、何か秘密があるらしく…。『愛は静けさの中に』でアカデミー主演女優賞を受賞した聾者の著者の自伝的小説。「耳の聞こえない子がわたります」の続編。



■ 『聴覚障害児の学力を伸ばす教育』

ドナルド・F・ムーアズ、デヴィッド・S・マーティン／編集  
松藤みどり、長南浩人、中山哲志／訳

明石書店 定価 3,800 円 (+税)

現場教師向けの本です。各教科について詳しく書かれている。プリントリテラシーの章は、読んでみる価値あります。



■ 『ろう者のトリセツ聴者のトリセツ ろう者と聴者の言葉のズレ』

関西手話カレッジ／編・著  
星湖舎 定価 1,260 円 (税込)

ろう者と聴者の「解釈の違い」「言葉のズレ」を集めた本です。



■ 『新 手話通訳がわかる本』 (1月下旬発刊)

全国手話通訳問題研究会 編  
中央法規出版 定価 1,890 円 (税込)

■ 『コミック 筆談ホステス 上・下巻』

齊藤里恵／原作 蟹江ユアサ／漫画  
光文社 定価 各 620 円 (税込)



■ 『15(フィフティーン)- ハンディ ~わが子は耳の聞こえぬテニスプレーヤー~』

梶下律子／著 小学館 定価 1,470 円 (税込)

聴覚障害の 15 歳のテニスプレーヤー梶下怜紀さん。健聴者と互角に戦う姿には勇気づけられます。'09 年 9 月にはデフリンピックに日本代表として出場。母親の律子さんがつづる、少年と家族の物語。



## お知らせ 耳の日まつり

日時 平成22年3月7日(日) 10時～12時  
 場所 エミフルMASAKI 1階グリーンコート(イベント広場)  
 内容 市民向け企画(手話コーラス・クイズ・ミニ手話体験など)  
 主催 耳の日まつり実行委員会



—内容の詳細は、次号でお知らせします。—

## 行事報告

9月の盲ろう生徒の支援にかかわる1回目の会議に続き、1月14日、本年度2回目のネットワーク会議を開催しました。乳幼児期から就学にかかわる「入り口」段階での教育支援やフォローについて関係機関との意見交換を行いました。

「入り口」の会議は3年目になりますが、特に、人工内耳に焦点を当て、その療育や支援に関わる次のような関係機関の参加で行いました。

愛媛大学、視聴覚福祉センター、十全医療学院(言語聴覚士の養成学校)、難聴児を持つ親の会などに参加していただきました。

また、東温市や西条市など、今後、人工内耳を装用したお子さんがたくさん就学していくことになる市の関係機関やキーパーソンにもお越しいただきました。

会議では、聾学校の教育相談をもっと早めに活

## 第2回 ネットワーク会議

用してもらえよう、難聴発見の段階から、聾学校(教育相談)が、関わることはできないかという話をさせていただきました。

愛媛県では、難聴児は、必ず視聴覚福祉センターを経由するシステムができていますが、聾学校の支援が必要となるだろうお子さんに対して早期段階からスムーズな支援ができるように、関係者で検討する会議を持てるようにしようという話になり前進がはかれました。

親の会や、保護者の立場からも、難聴発見時に支援機関についての選択肢を多く与えられるようにしてもらいたいという意見も出されました。

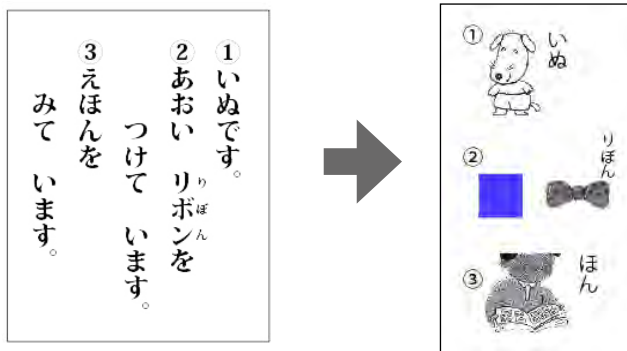
今後は、今回の前進面を具体化するために、大学やセンターと話し合う場を設けたいと思います。

## カードゲームも工夫して遊ぼう!

スリーヒントゲーム、字の読めない子に、手話でも問題が出せるように!



※上の『スリーヒントゲーム』は、学研から発売で定価410円です。



※右のような『たのしいスリーヒントかるた』というのも同じルールゲームです。学研から発売されていました。



3つのヒントに当てはまるカードを早く見つけて、カルタのように取るゲームです。小さいお子さんは、字が読めないため、読み手となるのが難しいことがあります。そこで、読み札をイラスト入りのものに作り替えると、子どもたちも手話で問題がだせるようになります。文字が読め始め、手話でも上手に問題が出せるようになったら、少しずつ、文字の読み札で、問題が出せるように練習したりして、言葉の学習につなげています。

認知力や思考力を育てるのにも、いいゲームです。

## 特集: FM補聴援助システム(補足) 干渉の少ないチャンネル設定

基準規格 (オーチコン 社アミーゴ 等の表示)	周波数帯 (MHz)	フォナック 登録(表示) チャンネル	干渉の 少ない チャンネル
M01	169.4125	91	96,98,99
M02	169.4375		
M03	169.4625		
M04	169.4875	92	96,98,99
M05	169.5125		
M06	169.5375		
M07	169.5625		
M08	169.5875		
M09	169.6125		
M10	169.6375	96	91,92,99
M11	169.6625		
M12	169.6875		
M13	169.7125	98	91,92
M14	169.7375		
M15	169.7625		
M16	169.7875	99	91,92,96

「フォナック FM ブログ」参考

前号のFM補聴援助システムの特集の補足をします。

学校内でFMシステムが何台か利用される場合、使用するチャンネルを検討する必要があります。例えば、フォナックの補聴器では、表にあるように、5チャンネルが利用できます。

この、5チャンネルの組み合わせで、干渉の少ないチャンネルを選択して利用します。

どこの難聴特別支援学級でも1人学級であることが多いので、あまり気にしませんが、2人以上が校内で勉強する時があるようだったら、チャンネル設定を検討する必要があります。購入した際には、デフォルトチャンネルは、91チャンネルとなっていることが多いようです。

例えば、3名の生徒が校内でFMを利用する場合、表から分かるように、「91」「96」「99」などと使用すれば、お互いに「干渉の少ないチャンネル」になっていることが分かります。しかし、「92」を選んでしまうと、周波数が近く、91と92が干渉してしまう可能性が高くなります。

ちなみに、アミーゴでは、M01～M16までの、16チャンネルの設定ができます。校内で、メーカーの違うシステムを混在させている場合もあります。左のような表を参考に設定をしてみるといいでしょう。

## ハイブリッド型人工内耳 (EAS) について

人工内耳テクノロジーはどんどん進化しています。

ハイブリッド型の人工内耳も開発されているようですが、医療機器としての認可がまだのため、高度医療として一部の病院での臨床応用が始まっているだけようです。

この「ハイブリッド」とは、電極をこれまでよりも短くして、残った聴力のある内耳を損傷させずに、高音域は人工内耳で刺激し、残った低音域を補聴器で入力するという、音響刺激と電気刺激のハイブリッド(混合)型という意味です。オーディオグラムでは、高音急追型の聴力の難聴者で、低音部の聴力が良いため、補聴器装用が困難な場合などに期待できるようです。

また、これまでの人工内耳は、最大24チャンネルですが、120チャンネル化された人工内耳も開発中で、これまでの人工内耳では難しかった音楽の聞こえも良くなるということです。

最新情報は人工内耳のブログなどで収集するとよいですね。

人工内耳については、こちらのブログも役立ちます。→<http://aoi-831.blog.ocn.ne.jp/blog/>

インターネットで検索できますが、宮崎県医師会発行の日州医事第711号(平成20年11月号)には、ハイブリッド型人工内耳の紹介と、模式図が掲載されています。

## 講演会へ御参加いただき、ありがとうございました。

田中美郷先生の講演に、多くの皆様に御参加いただきありがとうございました。

参加できなかった方、当日配布の資料等、必要な方は申し出てください。「聴覚活用と手話」をどの

ように使っていたらよいかよく分かると思います。

担任を通して、自立連携課員まで御連絡ください。